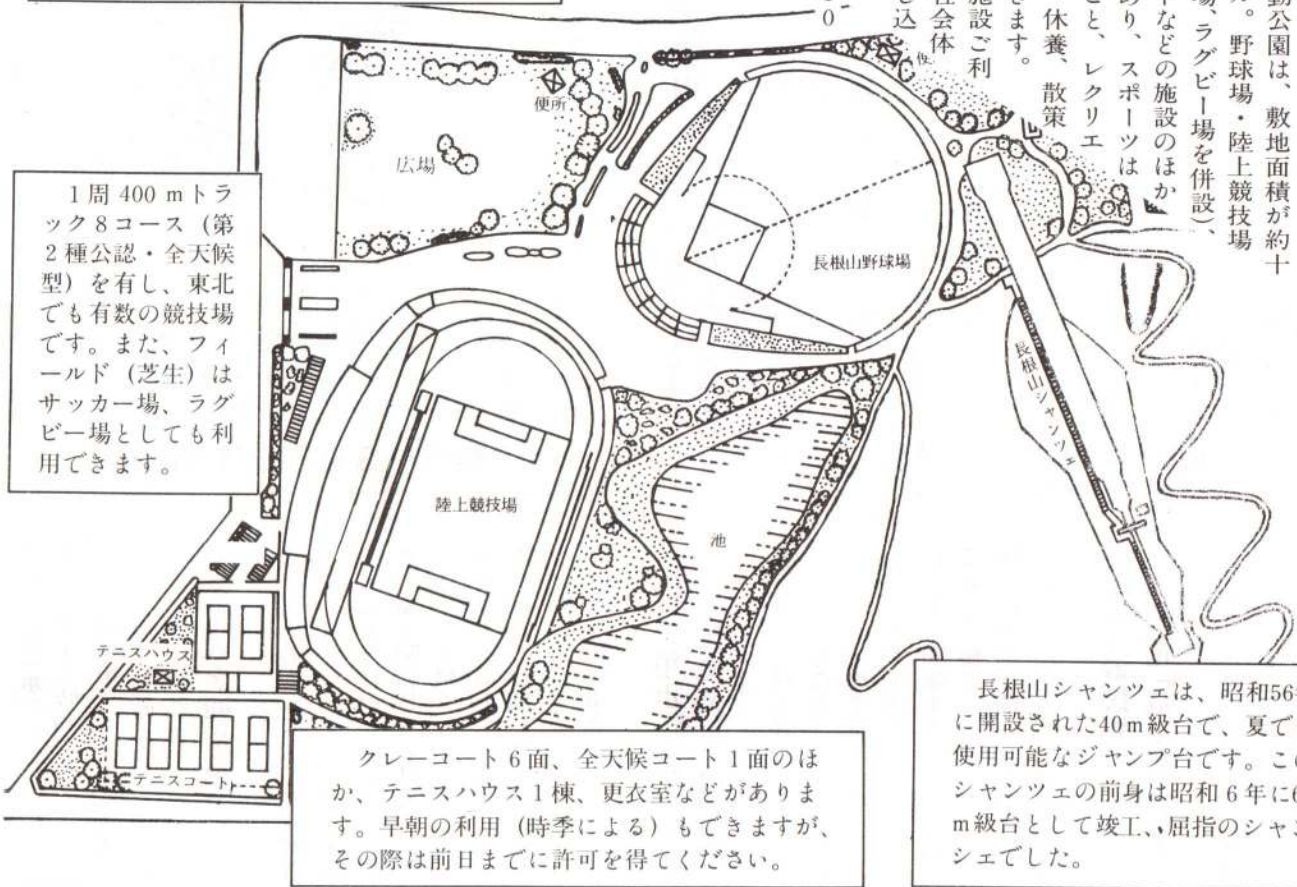


◆ 長根山運動公園

昭和54年に開設されたこの野球場は、両翼が91m、センターは120mあります。収容人員は、メインスタンド、内・外野スタンド合わせて4,700人ほどもです。

今年度は、マウンド工事（規定変更による）などにより、開場期日は4月末頃の予定です。

長根山運動公園は、敷地面積が約十八ヘクタール。野球場・陸上競技場（サッカー場、ラグビー場を併設）、テニスコートなどの施設のほか、広場などもあり、スポーツはもちろんのこと、レクリエーションや、休養、散策にも利用できます。
※スポーツ施設ご利用の際は市社会体育課へお申し込みください。
42-0310



1周400mトラック8コース（第2種公認・全天候型）を有し、東北でも有数の競技場です。また、フィールド（芝生）はサッカー場、ラグビー場としても利用できます。

クレーコート6面、全天候コート1面のほか、テニスハウス1棟、更衣室などがあります。早朝の利用（時季による）もできますが、その際は前日までに許可を得てください。

長根山ジャンツェは、昭和56年に開設された40m級台で、夏でも使用可能なジャンプ台です。このジャンツェの前身は昭和6年に60m級台として竣工、屈指のジャンツェでした。

人物登場

泉 竹之助さん・69歳
(赤館)



スキー王国大館

昭和九年に新潟の小千谷で開催された神宮大会、今という国体のようなものですが、この大会で秋田県は二部（北海道・東京・青森・新潟・樺太を除く）で優勝しました。

私はジャンプ競技に出場しましたが、二回目に突風にあおられて転倒、でも翌年大館で開かれた全県大会ではジャンプで優勝したんです。

考えてみるとあの頃が大館のスキー全盛期でしょうね。石田栄一さん、田山武雄さん、佐野孝君（のち本間



▲昭和28年の国体兼全日本スキー選手権大会

姓)、鳥潟雄一君といった名選手が続出し、大中は昭和十二年から終戦まで全県大会を連覇しています。
長根山ジャンツェは当時六十級台で、国内でも指折りのジャンプ場でした。二十年代には全日本大学選手権大会、国体兼全日本スキー選手権大会（アルペンは大湯）、三十三年には国際スキー・ジャンプ大会も開催されたんです。
現在のジャンツェはオールシーズン使えるように造られていますから、ジャンプ大館の復活を大いに期待しています。

◇次回は「矢立地区」をお送りします。